

Characteristic systemic cytokine responses in children with human bocavirus-positive lower respiratory tract infection

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2016-01-29 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 廣瀬, 陽介 メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/10470/31336

主論文の要旨

Characteristic systemic cytokine responses in children with human bocavirus-positive lower respiratory tract infection

ヒトボカウイルス陽性下気道感染症の小児におけるサイトカインプロファイル

東京女子医科大学小児科学教室

(主任：永田 智 教授)

廣瀬 陽介

Microbiology and Immunology 第 58 巻第 3 号 215 頁～218 頁 (平成 26 年 3 月 5 日発行) に掲載

【要旨】

2005 年にスウェーデンの下気道感染症の小児よりヒトボカウイルス (HBoV) が発見されて以来、同ウイルスが様々な発生率と季節性を持って世界中のヒト気道感染症において検出されている。今回、本感染症の病態を解明することを目的として感染時の幼小児の炎症性サイトカインのプロファイルを検討した。

入院加療を要した 2 歳未満の下気道感染症児で、鼻咽頭ぬぐい液の PCR 検査で HBoV 遺伝子が陽性であった 14 名の小児の血清中の 17 種類のサイトカイン濃度を測定した。また RSV が陽性であった 28 名の下気道感染症の小児の血清サイトカイン及び同年齢の健常児についても同様に測定し、比較した。

IL-4、IL-12(p70)以外のサイトカインは HBoV 群がコントロール群より有意に高かった。HBoV 群と RSV 群間では TNF- α 、IL-5、IL-2 では HBoV 群の方が有意に高く、IL-8 では逆に有意に低かった。

検討した炎症性サイトカインの中では TNF- α 濃度が HBoV 群で最も際立って高値であった。既報で TNF- α はホストの免疫反応を下げる事や肺損傷の程度に強く関わっていること、HBoV 陽性患者の鼻汁に高濃度に認められることは報告されている。TNF- α をはじめとして感染時の幼小児個体の特色ある炎症性サイトカインの産生が HBoV 下気道感染症の病態に反映されている可能性が示唆された。